

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【公表番号】特表2019-536314(P2019-536314A)

【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2019-518973(P2019-518973)

【国際特許分類】

H 04 N 19/52 (2014.01)

H 04 N 19/70 (2014.01)

H 04 N 19/85 (2014.01)

H 04 N 19/597 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/52

H 04 N 19/70

H 04 N 19/85

H 04 N 19/597

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在ピクチャを含む画像信号の復号化方法であって、

前記現在ピクチャが符号化されたビットストリームを受信し、

タイルまたはスライスの少なくとも1つの分割構造に基づいて前記現在ピクチャを分割し、

前記現在ピクチャにおける第1符号化ブロックを複数の第2符号化ブロックに分割し、前記ビットストリームからの構文情報に基づいて、前記第2符号化ブロックの1つである現在ブロックの予測ブロックを取得し、

前記予測ブロックに基づいて前記第2符号化ブロックを再構成する、ことを含み、前記第1符号化ブロックは、四分割、二分割、または三分割の少なくとも1つに基づいて分割され、

前記四分割は、1本の水平線および1本の垂直線の両方にに基づいて、1つの符号化ブロックを4つの符号化ブロックに分割する分割方式であり、

前記二分割は、1本の水平線または1本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化ブロックを2つの符号化ブロックに分割する分割方式であり、

前記三分割は、2本の水平線または2本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化ブロックを3つの符号化ブロックに分割する分割方式である、復号化方法。

【請求項2】

前記第1符号化ブロックのサイズが所定のしきい値サイズよりも大きいとき、前記四分割のみが前記第1符号化ブロックに利用可能であり、

前記第1符号化ブロックのサイズが前記しきい値サイズ以下であるとき、前記四分割および二分割の両方が前記第1符号化ブロックに利用可能である、請求項1に記載の復号化方法。

【請求項 3】

前記二分割は、前記四分割に基づくブロック分割が実行されなくなったときにのみ許容される、請求項2に記載の復号化方法。

【請求項 4】

前記第1符号化ブロックが、前記三分割に基づいて、3つの第2符号化ブロックに分割されるとき、前記3つの第2符号化ブロックの1つは、前記3つの第2符号化ブロックのうちの他の2つのサイズよりも大きいサイズを有し、前記3つの第2符号化ブロックのうちの他の2つは同じサイズを有する、請求項1に記載の復号化方法。

【請求項 5】

前記3つの第2符号化ブロックの1つのサイズは、前記3つの第2符号化ブロックのうちの他の2つのサイズの合計と等しい、請求項4に記載の復号化方法。

【請求項 6】

前記3つの第2符号化ブロックの1つは、前記3つの第2符号化ブロックのうちの他の2つの間に配置される、請求項4に記載の復号化方法。

【請求項 7】

前記第1符号化ブロックの分割は、前記ビットストリームから取得したフラグに基づいて分割方向を決定することを含み、

第1値に等しい前記フラグは、垂直方向を示し、第2値に等しい前記フラグは水平方向を示す、請求項1に記載の復号化方法。

【請求項 8】

前記スライスは、前記現在ピクチャにおける長方形の領域をカバーするタイルのグループである、請求項1に記載の復号化方法。

【請求項 9】

画像の符号化方法であって、

第1符号化ブロックを複数の第2符号化ブロックに分割することによって、分割情報を決定し、

前記第2符号化ブロックの予測ブロックを生成し、

前記第2符号化ブロックの最初のブロックおよび前記予測ブロックに基づいて、前記第2符号化ブロックの残差ブロックを取得し、

前記残差ブロックに対して変換および量子化を実行することによって、量子化変換係数を取得し、

前記分割情報および前記量子化変換係数を符号化することによって、ビットストリームを生成する、ことを含み、

前記第1符号化ブロックは、四分割、二分割、または三分割の少なくとも1つに基づいて分割され、

前記四分割は、1本の水平線および1本の垂直線の両方にに基づいて、1つの符号化ブロックを4つの符号化ブロックに分割する分割方式であり、

前記二分割は、1本の水平線または1本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化ブロックを2つの符号化ブロックに分割する分割方式であり、

前記三分割は、2本の水平線または2本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化ブロックを3つの符号化ブロックに分割する分割方式である、符号化方法。

【請求項 10】

画像信号に関するデータを格納するためのコンピュータ可読媒体であって、

符号化方法によって符号化され、コンピュータ可読に格納されるビットストリームを含み、

前記符号化方法は、

第1符号化ブロックを複数の第2符号化ブロックに分割することによって、分割情報を決定し、

前記第2符号化ブロックの予測ブロックを生成し、

前記第2符号化ブロックの最初のブロックおよび前記予測ブロックに基づいて、前記第

2 符号化プロックの残差プロックを取得し、

前記残差プロックに対して変換および量子化を実行することによって、量子化変換係数を取得し、

前記分割情報および前記量子化変換係数を符号化することによって、ビットストリームを生成する、ことを含み、

前記第1符号化プロックは、四分割、二分割、または三分割の少なくとも1つに基づいて分割され、

前記四分割は、1本の水平線および1本の垂直線の両方にに基づいて、1つの符号化プロックを4つの符号化プロックに分割する分割方式であり、

前記二分割は、1本の水平線または1本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化プロックを2つの符号化プロックに分割する分割方式であり、

前記三分割は、2本の水平線または2本の垂直線のいずれかに基づいて、1つの符号化プロックを3つの符号化プロックに分割する分割方式である、コンピュータ可読媒体。